

農村RMO 関係府省施策の活用（岡崎市下山学区地域づくり協議会（愛知県岡崎市））

— 地区の背景 —



平成19年(2007年)
トヨタ自動車 テストコース建設着手
令和5年度(2023年)以降の本格稼働時には、ドライバー含め約3,000人が働く予定



10年以上前から、まちづくりに関する機運は高かった



平成30年3月31日(2018年)
JA下山支店の閉鎖



施設の有効活用を望む声が多かった



令和3年4月1日(2021年)
中山間政策課の設置
中山間地域の活性化施策を更に推進



中山間地域に対する行政側の支援体制が強化された



令和4年3月(2022年)
「岡崎市中山間地域活性化計画 オクオカイノベーションプラン2030」策定

公民連携による持続的な施策を戦略的に取り組み、持続可能な魅力ある地域を作り上げることを目的



中山間地域支援に関するアクションプランが定められた



(岡崎市資料)



(岡崎市資料)

多様な人材による農地利用の必要性

— 課題解決に向けた関係府省等の施策の活用 —

地方創生推進交付金(内閣府)

【取組内容】
市の中山間地域を対象に、関係人口創出や移住・定住促進、「小さな拠点」形成
【農村RMOとの連携】
・活動拠点の提供(施設賃借料)
・地域に移住相談が来た際の受入れ



「関係人口、移住・定住」に関する課題

地方創生臨時交付金(内閣府)

【取組内容】
「移動販売を通じた地域コミュニティづくり事業」(市が、本交付金を活用して公募)
【農村RMOとの連携】
・運行ルート検討にあたり、共に協議
・販売等のサポートや、事前周知等



「買い物支援」に対する課題

地域おこし協力隊、集落支援員(総務省)

【取組内容】
地域おこし活動や、集落への目配り
【農村RMOとの連携】
・農作物販売やイベント活動、情報発信等
・空き家調査や移住マッチング等



「地域人材の不足」に関する課題

令和4年4月1日(2022年)
岡崎市下山学区地域づくり協議会設立

下山学区における生活や暮らしを守るため、住民が一体となり、生産、生活扶助、資源管理に取組み、地域コミュニティ機能の維持・強化を図る事業を行うことを目指す(規約より)



R4農村RMOモデル事業に申請・採択

(体制図)

岡崎市下山学区地域づくり協議会

協議(構成団体)	実行
・下山学区対策委員会	・農用地保全部会
・農業生産組合	・地域資源活用部会
・JAあいち三河	・生活支援部会
・岡崎森林組合	・企画施設運営部会
・学識経験者	
・岡崎市	

関連施策は、農村RMO事務局の「岡崎市」が、構成員ほか関係団体と相談しながら選択・活用している。

「農用地保全等」に関する課題 農村RMOモデル形成支援事業(農水省)

【取組内容】
・体験農園実施や高収益作物導入の取組
・JA下山支店の活用に向けた検討、実証
・クアオルト(健康づくり)ウォーキングによる観光客呼び込みや、農作物運搬・買い物支援・高齢者や子供の送迎支援等



「移動サービス」に関する課題 岡崎市社会福祉協議会事業(岡崎市社協)

【取組内容】
地域の支え合い活動促進を目的とした「地域支え合い車両」の貸し出し
【農村RMOとの連携】
・下山学区地区に車両の貸与
・高齢者や子供の部活動の送迎等で活用



「属性や世代を問わない相談等」に関する課題 重層的支援体制整備事業(厚生労働省)

【取組内容】
高齢、障害、子育て、生活困窮分野の相談支援や地域づくりの補助金等を一括交付(岡崎市は、重層的支援体制整備事業の申請市町村)
【農村RMOとの連携】
・子供食堂における料理の提供や、メニュー検討

